

# 畜産ネットワーク ちば

2013年5月23日  
第27号

発行所 公益社団法人千葉県畜産協会  
〒260-0021  
千葉市中央区新宿1-2-3  
K&T千葉ビル3階  
発行人 森 英介

## 就任にあたってのあいさつ



千葉県農林水産部長  
麻生 恵

千葉県農林水産部長を拝命いた

しました麻生でございます。

会員の皆様並びに畜産関係者の皆様には、日ごろから本県畜産の振興に御尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本県は全国でも有数の畜産県であり、平成23年畜産産出額は、1,034億円と、生乳で全国第3位、豚で第4位、鶏卵で第2位を占めるなど、畜産全体で第6位の地位を維持しております。

しかしながら、本県の畜産は、乳牛及び肉用牛の改良や増頭による生産力の向上、円安等に起因する飼料高騰による一層の自給飼料の生産拡大、海外悪性伝染病への対応など克服すべき課題に直面しております。

県としては、これらに対応し力強い千葉県の畜産を実現するため、平成25年度は主に次の対策に取り組んでまいります。

### 1 生産性向上・経営安定のための生産基盤の強化

生産能力の高い乳牛や和牛を殖やし、かつ品質の高い牛乳、牛肉及び豚肉を生産する体制を強化する

とともに、国の講じる各部門の経営安定対策を着実に推進します。

### 2 自給飼料の生産拡大による飼料自給率の向上

輸入飼料主体から自給飼料主体の飼料生産・給与構造に転換するために、飼料生産用機械の整備への支援、コントラクターの育成、耕作放棄地の活用を通じて、飼料自給率を引き上げます。

### 3 県産畜産物の魅力発信

特に県産食肉の魅力発信を図るために、チバザボーグ（豚肉）及びチバザビーフ（牛肉）のキャンペーン活動を通じて需要を喚起します。また、県が造成する系統豚を活用した県産ブランド豚肉の創出に取り組みます。

### 4 家畜排せつ物の適正管理と有効利用

家畜排せつ物法に準拠した適正管理・利用を推進するとともに、臭気低減や高度な汚水処理など新技術を活用した施設整備を促進します。

### 5 家畜衛生対策の強化

口蹄疫などの家畜伝染病の発生防止対策と、万一発生した場合の迅速な防疫対策の一層の強化を図ります。

以上の推進につきましては、引き続き皆様の御理解と御協力をよろしくお願ひいたします。

最後になりますが、千葉県畜産協会会員及び関係者の皆様の益々の御発展を祈念申し上げまして、就任の挨拶とさせていただきます。

もくじ

- ・就任にあたっての挨拶…………… (1)
- ・平成24年度第2回通常総会…………… (2)
- ・平成25年度畜産協会事業推進体制…………… (2)
- ・平成25年度主な家畜衛生対策事業の推進について… (3)
- ・肉用牛肥育経営安定特別対策（新マルキン）事業… (4)
- ・肉用子牛生産者補給金制度・肉用牛繁殖経営支援事業… (5)
- ・平成25年度千葉県畜産関係機関一覧表…………… (6)
- ・NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信… (8)
- ・平成25年度養豚経営安定対策事業（全国肉豚）… (9)
- ・N P C 通信（ナイスポーチチバ推進協議会）…… (10)
- ・ちば畜産レディースネットワーク会報…………… (11)
- ・走れ。私の馬。～地方競馬全国協会からのご案内～… (12)

当協会は平成25年4月1日に公益社団法人へ移行いたしました。  
引き続き畜産業の振興を図る事業を推進してまいります。

## 平成24年度第2回通常総会開催

平成25年3月25日、プラザ菜の花において、森会長出席のもと平成24年第2回通常総会が開催され、平成25年度事業計画案及び収支予算案をはじめ全5議案が原案どおり承認されました。

東日本大震災・放射能汚染問題等から2年が経過しましたが、その痛手は深くいまだ本格的に立ち直ったとはいえない状況にあります。

それに加え、急激な円安のために飼料や原油、生産資材の高騰は著しく畜産の経営基盤を圧迫しております。

更には、TPP交渉への参加が現実的となり、生産者の経営不安は深まるばかりです。

このような状況の中、当協会は平成25年4月1日に公益社団法人へ移行いたしました。

平成25年度は「公益社団法人」としての社会的使命・役割を十分に認識して、安心安全な県産畜産物を消費者に安定的に供給するため、生産者の経営・飼育技術の向上及び家畜・畜産物の衛生の改善を図る事業や生産者及び関係機関・団体と連携して畜産業の振興を図る事業を推進してまいります。

また、畜産物の消費拡大や畜産への理解醸成等についてもより一層推進するとともに、肉用牛損害賠償請求事務につきましても引き続き取り組んでまいります。

更に、国・県等の様々な事業に積極的に取り組むとともに、緊急課題や当協会独自事業についても活発に取り組み、県民・消費者・生産者・関係機関・団体等に「公益社団法人」として認められる団体として踏み出してまいります。（総務課 武田）

## 平成25年度畜産協会事業推進体制

以下の体制で事業推進を図ります。よろしくお願ひいたします。（総務課 武田）

【理事会】			【委員会】
【事務局】			
部署・TEL・FAX TEL:043-242-5417(代) FAX:043-238-1255	職名 事務局長	氏名 榛葉 雅和	主な業務の内容
「総務・企画部」	TEL:043-242-5417 [総務課] TEL:043-242-5417	部長 課長 主任主事 派遣職員 臨時職員	・庶務・会計に関する事 ・経理処理に関する事 ・新公益法人へ移行後の管理に関する事 ・畜産コンサルタント等設置に関する事
「事業部」	TEL:043-242-6333 [企画課]	参与 主事 臨時職員 臨時職員	・肥育牛経営安定対策に関する事 ・生産者・流通加工者・消費者との相互理解促進に関する事 ・情報の発信に関する事
	TEL:043-241-1738 [経営・環境課] TEL:043-241-1738	部長 (兼)課長 嘱託職員 (兼)臨時職員	・畜産経営技術指導、支援等に関する事 ・担い手育成支援に関する事 ・公庫資金、貸付事業等の指導に関する事 ・飼料用米等の自給飼料生産の振興に関する事 ・堆肥の生産、流通等に関する事 ・家畜排せつ物法に関する事
	TEL:043-241-1738 [衛生指導課]	(兼)課長 臨時職員 臨時職員	・家畜の自衛防疫等の推進、指導に関する事 ・死亡牛処理円滑化事業に関する事 ・家畜防疫互助基金造成等に関する事 ・指定獣医師に関する事
	TEL:043-241-3851 [生産課]	(兼)課長 主査 技師 嘱託職員 臨時職員	・養豚の振興等に関する事 ・豚の登録、共進会等豚の改良に関する事 ・肉豚の価格補償に関する事 ・肉用牛の生産振興に関する事 ・肉用子牛の価格の安定、生産拡大等に関する事
【畜産団体事務局】			
★千葉県畜産物消費拡大推進協議会 ★ナイスポークチバ推進協議会 ★ちば畜産レディースネットワーク ★千葉県肉用牛損害賠償請求生産者会	★千葉県養蜂協会 ★ちばエコフィード利用推進会議 ★NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター	★千葉県馬事畜産振興協議会 ★千葉県自家検定推進協議会	

## 平成25年度主な家畜衛生対策事業の推進について

畜産協会では畜産農家自らが行う防疫活動に対して、市町村家畜防疫会、家畜保健衛生所及び関係機関・団体・業者の皆さんのご協力のもとに、各種支援事業の推進にあたっております。

本年度補助事業の補助単価の上限額及び主な事業推進についてお知らせいたします。（事務局長 棚葉）

### 1 補助単価上限額

項目	平成25年度	平成24年度	比較増減	
<b>オーエスキーア病関係</b>				(国庫補助事業) 地域奨励費8円が削除 抗体検査費1/2+技術料等
① オーエスキーア病ワクチン	38円/頭	46円/頭	△8円/頭	
② 抗体検査	1,000円/頭	1,000円/頭		
③ 感染豚とう汰	16,000円/頭	16,000円/頭		
<b>牛の異常産関係</b>				(国庫補助事業)
① 3種混合ワクチン	128円/頭	257円/頭	△129円/頭	
② アカバネ病ワクチン	111円/頭	222円/頭	△111円/頭	
<b>馬関係（軽種馬）</b>				(JRA補助事業) 1歳、2歳及び繁殖牝馬対象
① 馬インフルエンザワクチン	925円/頭	925円/頭		1歳及び2歳馬対象
② 3種混合ワクチン	1,415円/頭	1,415円/頭		2歳馬対象
③ 日本脳炎ワクチン	335円/頭	335円/頭		3回接種まで対象
④ 馬鼻肺炎ワクチン	3,645円/頭	3,645円/頭		
<b>馬関係（軽種馬以外）</b>				乗用馬等1回のみ対象
① 馬インフルエンザワクチン	1,860円/頭	1,860円/頭		
<b>死病牛処理関係</b>				(国庫補助事業) 農家～検査場所 検査場所～県内化製場 検査場所～県外化製場 実処理費の1/2
① 輸送費A	2,000円/頭	2,000円/頭		
② 輸送費B	1,500円/頭	1,500円/頭		
③ 輸送費C	2,000円/頭	2,000円/頭		
④ 化製処理費	7,500円/頭	7,500円/頭		

### 2 農家への補助金単価の決定と交付時期について

農家へ交付される補助金は、事業費の確定に基づき、次のように決定されることから、補助金交付は年1回となり、翌年度当初（4月～5月）に支払われます。

#### (1) 補助単価上限額が支払われる場合

① A・申請頭数(補助対象頭数)  $\geq$  B・実績頭数  $\rightarrow$  は上限額が支払われます。  
 ② C・申請額(補助金決定額)  $\geq$  D・実績額  $\rightarrow$  はC/Bで按分された補助単価で支払われます。

#### (2) 補助単価が減額されて支払われる場合

① A・申請頭数(補助対象頭数)  $<$  B・実績頭数  $\rightarrow$  はC/Bで按分された補助単価で支払われます。  
 ② C・申請額(補助金決定額)  $<$  D・実績額  $\rightarrow$  は

### 3 家畜防疫互助基金支援事業

家畜防疫互助事業（事業期間：平成24年～26年度までの3か年）は今年度2年目に入り引き続き加入促進にあたっております。口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザの発生に備えて、未だ加入されていない農家さんには是非とも加入されますようお願いいたします。（事務局長 棚葉）

わたしたち森久保薬品は  
人と動物の「これから」を真剣に考えています。

森久保薬品株式会社

<http://www.morikubo.co.jp>



## 肉用牛肥育経営安定特別対策（新マルキン）事業

### ◎肥育牛補てん金単価について【平成25年3月】

毎月払いが継続して実施されておりますので、引き続き販売報告の漏れがないようお願いします。

#### 1 補てん金単価と算定

（単位：円／頭）

区分	肉専用種	交雑種	乳用種
平均粗収益 (A)	867,749	535,184	300,760
平均生産費 (B)	858,070	592,503	382,764
差額 (C)=(A)-(B)	9,679	△57,319	△82,004
補てん金単価 (C)×0.8	-	45,800	65,600

#### 2 補てん金単価の推移

（単位：円／頭）

区分	肉専用種	交雑種	乳用種
平成25年2月	-	78,300	69,200
平成25年1月	29,600	87,600	63,500
平成24年12月	-	52,100	68,000
平成24年11月	8,400	91,200	70,900

※:100円未満切り捨て

①販売確認申出書は販売月翌月の20日までに各事務委託先に提出（厳守）。  
 ②出荷時には即家畜改良センターに転出届の手続きをして下さい。  
 ③乗遅れの補てん金交付はいたしませんので漏れのないようご注意下さい。  
 ④全国の補てん金価格の公表は販売月の翌々月の上旬となります。  
 ⑤補てん金交付時期は販売月の翌々月の22日位を予定しています。  
 (届のない牛は補てん金の対象外となります。)

### ◎新業務対象年間のスタートについて【平成25～27年度（3年間）】

新たな業務対象年間（第2業務対象年間：平成25～27年度）が始まります。

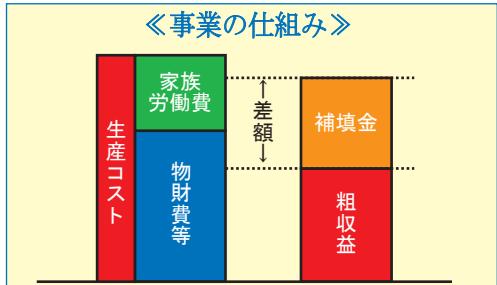
#### 1 事業の内容

粗収益が生産コストを下回った場合に、生産者と国の積立金から差額の8割を補填金として交付します。

また、今年度より一部の県において地域算定がモデル的に実施されます。※千葉県は全国算定での実施です。

- (1) 積立割合 生産者：国=1：3
- (2) 事業実施期間 平成25～27年度（3年間）
- (3) 補填金 1頭当たりの粗収益と生産コストの差額の8割
- (4) 対象品種 肉専用種、交雑種、乳用種（3区分）
- (5) 対象者 肥育牛生産者

なお、原則として補填金の交付については四半期ごとの実施ですが、昨年度に引き続き当面は月ごとに交付されます。



#### 2 新事業実施期間当初の積立金不足について

新たな事業対象期間となり積立金の繰り越しができないため、4月分の補填金は4月分の積立金で支払う必要があり、対象となる積立頭数と補填金交付頭数によってはアンバランスが生じ、補填金が満額交付できなくなる可能性があります。

→ 千葉県においても交雑種において可能性あり。

《対応方法》第1四半期に限定した概算払いの実施  
 積立金が不足する可能性のある4、5月分の補填金については積立金のある範囲で概算払いを行い、6月分の補填金交付の際に精算払いいたします。

#### 3 新たな肥育牛補填金交付契約の締結について

新業務対象年間の肥育牛補填金交付契約期間は、平成25年4月1日から平成28年3月31日までとなりますので、前業務対象年間に補填金交付契約を結んでいたる肥育牛生産者についても、改めて契約の締結が必要となります。

#### 《肥育牛補填金交付契約の申込期限》

平成25年5月31日まで

※申込期限を過ぎると、途中契約はできませんのでご注意ください!!

【お問い合わせはこちらまで】  
 公益社団法人 千葉県畜産協会  
 総務・企画部 企画課 担当：小倉、大崎  
 電話：043-242-6333 FAX：043-238-1255

新たな契約申込を  
受け付けます!!



## 肉用子牛生産者補給金制度・肉用牛繁殖経営支援事業

### 【肉用子牛生産者補給金制度】

#### 1. 平均売買価格と補給金単価の推移について

(単価:円/頭)

品種		黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格		310,000	285,000	204,000	116,000	181,000
合理化目標価格		268,000	247,000	142,000	83,000	241,200
24年度 第4四半期	平均売買価格	452,700	401,800	170,800	105,400	241,200
	補給交付金単価	-	-	33,200	10,600	-
24年度 第3四半期	平均売買価格	424,800	376,800	137,800	97,800	222,700
	補給交付金単価	-	-	65,780	18,200	-
24年度 第2四半期	平均売買価格	402,100	360,800	108,900	91,900	210,500
	補給交付金単価	-	-	91,790	24,100	-
24年度 第1四半期	平均売買価格	402,700	349,600	130,100	81,500	218,100
	補給交付金単価	-	-	72,710	34,350	-

#### 2. 肉用子牛の保証基準価格及び合理化目標価格の改定について

(単価:円/頭)

品種		黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
24年度	保証基準価格	310,000	285,000	204,000	116,000	181,000
	合理化目標価格	268,000	247,000	142,000	83,000	138,000
25年度	保証基準価格	320,000	292,000	209,000	122,000	188,000
	合理化目標価格	273,000	251,000	144,000	86,000	142,000

### 【肉用牛繁殖経営支援事業】

#### 1. 支援交付金単価の推移について

(単価:円/頭)

品種		黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種
発動基準価格		380,000	350,000	250,000
24年度第4四半期	支援交付金単価	-	-	34,500
24年度第3四半期	支援交付金単価	-	-	34,500
24年度第2四半期	支援交付金単価	-	-	34,500
24年度第1四半期	支援交付金単価	-	300	34,500

#### 2. 発動基準価格の改定について

(単価:円/頭)

品種		黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種
発動基準価格	24年度	380,000	350,000	250,000
	25年度	410,000	370,000	270,000



お問い合わせは  
こちら!!

公益社団法人 千葉県畜産協会  
事業部 生産課 担当:飯沼、小倉  
電話:043-241-1738 FAX:043-238-1255

#### 『事業参加申込書の提出』

平成25年度より毎年度、  
事業参加申込書を提出いただ  
くこととなり、併せて肉用子  
牛生産に係る合理化を促進さ  
せるための取り組みを記載し  
ていただきます。

#### 主な取組内容

- ①肉用子牛の出荷月齢の短縮
- ②繁殖雌牛の初産月齢の早期化
- ③繁殖雌牛の分娩間隔の短縮
- ④飼料の低コスト化 など

次代へつなぐ子供達の為にも安全な精肉を  
**CHEF MEAT CHIGUSA Co.,Ltd**  
 株式会社シェフミートチグサ

〒262-0012 千葉県千葉市花見川区千種町210-5  
 TEL: 043-259-3705 URL: [www.chefmeat.co.jp/](http://www.chefmeat.co.jp/)



## 平成25年度 千葉県 畜産関係機関一覧表

農林水産部 〒260-8667 千葉市中央区市場町1-1			部署	職名	氏名	
部署・TEL	職名	氏名	病理成果学課 細菌ウイルス課	技師	福井 陽士	
043-222-2800	部長	麻生 恵		任用職員	久保 正法	
043-223-2801	流通販売担当部長	加藤岡 正		課長	市沢 三香	
043-223-2803	次長	渡辺 清一		上席専門員	松本 敦子	
043-223-2804	次長	湯橋 勤		専門員	大坪 岳彦	
畜産課 〒260-8667 千葉市中央区市場町1-1 FAX:043-222-3098				専門員	福井 聰子	
部署・TEL				技師	関根 大介	
043-223-2931	課長	松木 英明		技師	松本 千明	
043-223-2929	副課長	上村 順一	東部家畜 保健衛生所	所長	〒283-0064 東金市川場1105-3 TEL:0475-52-4101 FAX:0475-52-3335	
043-223-2930	副課長	檜山 学		次長	中島 広史	
企画経営室 043-223-2926 043-223-2927 043-223-2777 043-223-2921	主幹兼室長	岡田 望		主幹	村田 宏之	
	主幹	富田 耕太郎		次長	渡邊 和彦	
	副主幹	菊地 誠一		課長	道本 昌信	
	主査	森 知夫		副主幹	今関 美代子	
	主査	森原 宏史		副主幹	金子 晴壽	
	主査	櫻井 紀夫		副主幹	柴田 祥子	
	副主査	青柳 真澄		上席専門員	千葉 耕司	
	副主査	石川 直子		上席専門員	猪俣 一陽	
	技師	藤川 英一郎		技師	土肥 世生	
	生産振興班長	渡辺 博剛	防疫課	課長事務取扱	村田 宏之	
生産振興班 043-223-2939	副主幹	島田 純		上席専門員	笠井 史子	
	主査	山崎 直		主任技師	渡部 美穂子	
	副主査	鎌田 望		技師	菅 賢明	
	主任技師	野村 俊介		技師	利谷 彰彦	
環境飼料班 043-223-2943 043-223-2944	環境飼料班	片山 雅一	南部家畜 保健衛生所	課長	〒296-0033 鴨川市八色52 TEL:04-7092-2304 FAX:04-7092-1434	
	副主幹	市原 裕二		副主幹	中根 崇	
	主査	菊地 里佳		次長	小野寺 道寛	
	技師	田仲 景土郎		衛生指導課	課長	
	技師	沼尾 真人		副主幹	江森 格	
家畜衛生対策室 043-223-2923 043-223-2938 BSE対策本部 043-223-3084	副技監兼室長	高橋 岩雄		副主幹	齊藤 満	
	主幹	青木 茂		副主幹	長田 貴	
	副主幹	井出 基雄		上席専門員	平畠 淳	
	主査	坂元 依子		技師	瀧口 由貴	
	副主査	吉田 喜一郎		技師	島田 圭悟	
	技師	佐多 美香		技師	石原 勇人	
中央家畜 保健衛生所 〒262-0011 千葉市花見川区三角町656 TEL:043-250-4141 FAX:043-236-0090			防疫課	技師	久保田 尚	
部署	職名	氏名		技師	佐藤 隆裕	
庶務課	所長	稻毛 幹雄		技師	小形 次人	
	次長	林 治実		技師	矢嶋 真二	
	主幹	芦澤 尚義	北部家畜 保健衛生所	課長	北287-0004 香取市岩ヶ崎台12-1 TEL:0478-54-1291 FAX:0478-54-5996	
	課長	大畠 清		副主幹	所長 笠井 貞義	
衛生指導課	主査	松宗 絵里		次長	次長 羽毛田 稔	
	課長	篠原 栄里子		課長	課長 武石 佳夫	
	専門員	相田 洋介		副主幹	副主幹 伊能 生子	
	専門員	高崎 舞		上席専門員	上席専門員 橋本 能子	
防疫課	技師	上林 佐智子		専門員	専門員 関野 友利華	
	課長事務取扱	林 治実		技師	技師 阿部 敬	
	副主幹	木下 智秀		技師	技師 今関 智恵	
	主任技師	西川 潤		技師	技師 関谷 圭美	
病理生化学課	技師	大橋 健	衛生指導課	課長	課長 青木 ふき乃	
	〒285-0072 佐倉市岩富町497 TEL:043-498-1431 FAX:043-498-1475			副主幹	副主幹 久保村 哲也	
	次長	陰山 繁		専門員	専門員 平野 亨	
	課長	原 晋		主任技師	主任技師 塚原 涼子	
	副主幹	小川 明宏		技師	技師 中山 雄大	
	専門員	関口 真樹		技師	技師 三浦 良彰	
	主任技師	萩原 妙子	防疫課	課長	課長	

畜産総合研究センター 〒289-1113 八街市八街へ16-1 TEL:043-445-4511 FAX:043-445-5447			部署 養豚養鶏研究室	部署	職名	氏名
部署		職名		上席研究員	青木 大輔	
センター長		伊藤 尚志		研究員	伊藤 香葉	
次長		吉田 裕三郎		研究員	新垣 裕子	
次長		鈴木 邦夫		研究員	細野 真司	
				研究員	八木 健	
総務課			畜産総合研究センター 市原乳牛研究所			
課長事務取扱			〒290-0531 市原市国本602			
副主幹			TEL・FAX		職名	氏名
主査			TEL:		所長	杉本 裕
主査			0436-96-1231		主幹	園原 邦治
主事			FAX:		副主幹	鳥海 三佐子
企画環境研究室			0436-96-0956		主任上席研究員	原 康弘
室長			TEL:		主任上席研究員	斎藤 公一
主席研究員			0436-96-1231		主任上席研究員	井上 貢
主席研究員			FAX:		研究員	進藤 彰
主任上席研究員			0436-96-0956		研究員	加藤 久美子
主任上席研究員			畜産総合研究センター 嶺岡乳牛研究所			
研究員			〒299-2507 南房総市大井686			
研究員			TEL・FAX		職名	氏名
研究員			TEL:		所長	福島 達哉
研究員			0470-46-3011		主幹	風間 達也
乳牛肉牛研究室			FAX:		主席研究員	山下 秀幸
研究員			0470-46-3012		副主幹	石井 真利子
研究員			TEL:		上席研究員	平尾 明
研究員			0470-46-3012		研究員	行川 貴浩
研究員			TEL:		研究員	小林 大誠
養豚養鶏研究室			畜産総合研究センター 嶺岡乳牛研究所			
室長			〒299-2507 南房総市大井686			
室長			TEL・FAX		職名	氏名
室長			TEL:		所長	福島 達哉
室長			0470-46-3011		主幹	風間 達也
室長			FAX:		主席研究員	山下 秀幸
室長			0470-46-3012		副主幹	石井 真利子
室長			TEL:		上席研究員	平尾 明
室長			0470-46-3012		研究員	行川 貴浩
室長			TEL:		研究員	小林 大誠

農業事務所名	課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
千葉農業事務所	企画振興課	〒266-0014 千葉市緑区大金沢町473-2	副主査	松本 友紀子	043-300-1985	043-293-3916
	改良普及課		上席普及指導員	渡邊 健一郎	043-300-0950	043-293-2710
東葛飾農業事務所	企画振興課	〒277-0861 柏市高田990-1	技師	中島 有美子	04-7143-4122	04-7144-8260
	改良普及課		普及技術員	羽深 真里	04-7162-6151	04-7162-6154
印旛農業事務所	企画振興課	〒285-0026 佐倉市鎧木仲田町8-1	主査	丸山 朝子	043-483-1129	043-485-9502
	改良普及課		技師	青木 朋子		
			GL・主任上席普及指導員	宮本 光浩		
			GL・主任上席普及指導員	平野 和則	043-483-1128	043-485-9502
香取農業事務所	企画振興課	〒287-0005 香取市佐原木1250-3	技師	本多 正隆	0478-52-9192	0478-54-5617
	改良普及課		技師	高橋 美奈子	0478-52-9195	0478-55-1703
海匝農業事務所	企画振興課	〒289-2504 旭市二1997-1	普及技術員	小林 夏奈子		
	改良普及課		普及技術員	溝井 つかさ		
山武農業事務所	企画振興課		副主幹	八木 由紀夫	0479-62-0156	0479-64-2502
	改良普及課		主査	古屋 聰子	0479-62-0334	0479-62-4482
長生農業事務所	企画振興課	〒297-0026 茂原市茂原1102-1	普及指導員	丸山 武則		
	改良普及課		普及指導員	有路 優子		
夷隅農業事務所	企画振興課		主査	安川 葉子	0475-54-1122	0475-55-8614
	改良普及課		技師	金子 妙子	0475-54-0226	0475-52-7914
安房農業事務所	企画振興課	〒298-0293 館山市北条402-1	主任上席普及指導員	鈴木 清治		
	改良普及課		普及指導員	村中 洋美		
君津農業事務所	企画振興課		技師	大河原 澄香	0475-22-1751	0475-26-2234
	改良普及課		主任上席普及指導員	伊藤 郁子	0475-22-1771	0475-25-2061
夷隅農業事務所	企画振興課		技師	末松 奈津美	0470-82-4956	0470-82-5348
	改良普及課		普及指導員	岸田 雅弘	0470-82-2213	0470-82-3975
安房農業事務所	企画振興課		主査	渡辺 聰	0470-22-7131	0470-22-0097
	改良普及課		副主査	田中 なほ子		
			主任上席普及指導員	金子 貴一		
			普及指導員	吉田 明広	0470-22-8132	0470-22-0097
			普及技術員	中原 祐樹		
君津農業事務所	企画振興課	〒292-0833	副主幹	永福 和明	0438-25-0107	0438-23-6698
	改良普及課	木更津市貝渕3-13-34	主任上席普及指導員	大塚 洋功	0438-23-0299	0438-23-6698

## NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信

去る4月19日(金)午後3時から平成25年度第1回理事会が千葉県庁2階県民活動情報オフィスに於いて開催されました。はじめに江藤理事長欠席のため香川副理事長の挨拶、公益社団法人千葉県畜産協会山田事業部長の来賓挨拶のあと、松田副理事長の進行で、平成24年度事業実績報告及び25年度事業計画等について協議しました。その主な内容についてご紹介します。(事務局 薫田)

### 1 平成24年度事業報告

平成24年度当初は、昨年度までの事業が終了し、予算額を大幅に縮小した予算立てでしたが、新しく、県からの委託事業の受託や国の公募事業に取組んだことにより増額決算となりました。

収入合計2,873,927円(内会費301,000円) 支出合計2,382,240円

#### (1) 生産コスト低減畜産技術開発推進事業 (社団法人畜産技術協会) 平成22年度～24年度

当NPO法人はNPO法人工コグループ市原の共同開発者となり「河川堤防刈草を有効活用した乳用牛発酵TMR飼料の開発による牛生産コスト削減効果の評価」を実施しました。

しかし、福島原発の放射能汚染問題で利根川及び手賀川堤防の刈草を給与することが不可能となり一昨年5月までの予備試験で終了し、24年6月に報告書とマニュアルを畜産技術協会へ提出しました。

#### (2) 千葉県農場HACCP推進指導事業の一部委託 (社団法人千葉県畜産協会) 平成23年度～25年度

本事業は、社団法人千葉県畜産協会から事務の一部を受託し、中央畜産会が実施している、農場HACCP推進農場の指定又は認証を希望する農場へ、HACCP指導員を派遣して指導・助言及び県内への農場HACCPの普及推進を図ることに努めました。

①平成24年度農場HACCP推進農場の指定 :

6農場(牛1、豚2、鶏3)

④社団法人中央畜産会主催による農場指導員及び

審査員養成研修会へのNPO会員を派遣 :

②認証農場の指導 : 2農場(牛1、豚1)

指導員研修5名、

③現地指導 : 10農場(牛2、豚2、鶏6)、

審査員研修6名(延11名・33日間)

指導回数 : 延35名

#### (3) 新規 平成24年度自給飼料活性型発酵TMRの生産に係る調査事業の委託 (千葉県畜産課)

県内で生産拡大が進んでいる稻WCSを有効活用するため、稻WCS主体のラッピング発酵TMRの生産及び利用に係る調査を行い、その経済性や優位性を検証することを目的として、当NPOは生産コストや作業効率を把握するため現地生産試験を実施しました。

・原材料費、資材費、燃料費、機械施設費、作業時間等の調査により生産コストを算出

#### (4) 新規 平成24年度食の安全・消費者の信頼確保対策事業(農場飼養衛生管理強化対策)

農林水産省公募事業: 平成24年度～

県内畜産農家のうち本事業で定めた一定規模の農場であって、生産者自ら飼養衛生管理の向上に取り組もうとしている農家等に対して、指定獣医師等を派遣し指導・支援を実施し、もって、県内における衛生管理の向上に努めました。

①農家の意向調査 : 市町村家畜防疫会の協力のもと実施 回答161農場(内希望 61農場)

②飼養衛生管理強化推進講習会の開催 : 指導獣医師等の認定 : 1回、15名(内13名認定)

③飼養衛生管理強化のための農場指導 : 牛 : 7農場、豚 : 1農場(指導獣医師等 延8名)

#### (5) 畜産団体事務受託事業

ちばフェルミエチーズネットワーク事務受託

本フェルミエチーズネットワークは、ナチュラルチーズの製造・販売に関する県内の農業者等が集まって交流を深めることで各自の資質向上と仲間作りを実現することを目的に平成24年10月24日設立され、当NPOは本事務局を受け持つことになりました(会員14名、内チーズ工房等8牧場)。

・千葉三越主催「千葉・房総フェスティバル」に参加(25年3月13日～18日 5牧場出店)

## 2 平成25年度事業計画

今年度はNPO法人としての活動を開始してから7年目です。昨今、TPP問題や円安、飼料高騰等先行きが不透明なところも多い状況にあります。畜産振興に向けて行政・団体・業界から畜産に係る公募事業や調査研究の受託に努めるとともに、会員や専門部会に重点を置いた活動を積極的に推進します。

会員の皆様の更なる積極的な参加をお待ちしております。

### 平成25年度総会

日時:平成25年5月23日(木)13時30分から

場所:千葉市生涯学習センター「メディアエッグ」千葉市中央区弁天3-7-7

### 平成25年第1回畜産研修会

日時:平成25年5月23日(木)14時30分から(総会終了後)

場所:千葉市生涯学習センター「メディアエッグ」千葉市中央区弁天3-7-7

演題1「あこがれのセカンドライフはチーズ職人」(講師 ちばフェルミエチーズネットワーク理事 駒形 雅明 氏)

演題2「NPO法人工エコグループ市原の紹介」(講師 NPO法人工エコグループ市原理事長 須藤 吉康 氏)

### ◎入会申込みや畜産に関するご相談等をお待ちしております。

お問い合わせは… NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター事務局((公社)千葉県畜産協会内)

TEL:043-241-1738

FAX:043-238-1255

正会員 68(内、団体10) 賛助会員 2(団体)

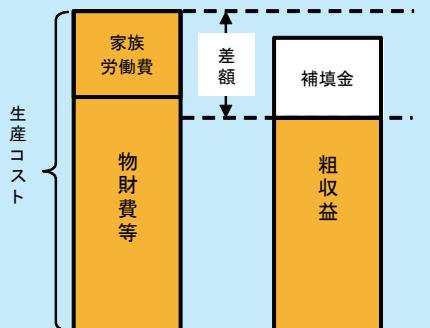
## 平成25年度養豚経営安定対策事業(全国肉豚)

### 《事業の内容》

①積立割合 生産者:国=1:1

②補填割合 粗収益と生産コストとの差額分の8割

③対象者 養豚経営者(耕畜連携、エコフィードの活用等の取組に努めようとする者) ※大企業は除きます。



《1頭当たり積立金》

25年度 2,000円/頭

《うち生産者負担金》

(1,000円/頭)

- ① 養豚経営の安定を図るため、粗収益が生産コストを下回った場合に、生産者と国の積立金から差額の8割を補填します。
- ② 粗収益と生産コストは四半期終了時に計算されます。
- ③ 当該四半期に発動がなかった場合は、次の四半期に通算して計算されます。
- ④ 補てん金交付の早期化のため、希望者に対する概算払いを導入。  
(4~6月分であれば、8月末の交付を8月上旬の交付に約3週間早期化)

### ◎平成25年度養豚経営安定対策事業(県補助)

養豚経営の安定と肉豚の安定的な生産を確保するため、養豚経営安定対策事業における生産者積立金の一部を助成します。(生産課 金杉)

平成25年度予算 76,000,000円 ※(H24) 1,087,623頭(契約頭数) ×助成額70円/頭=76,133,610円

# 瞳は未来を見つめてる。



動物 未来 みつめる ひろがる



動物用医薬品 製造販売  
日本全薬工業株式会社  
福島県郡山市安積町 笹川字平ノ上1-1  
URL: www.zenoaq.jp



# NPC通信

## (1) 豚肉重要品目に…自由民主党養豚議員懇話会開催

自民党国会議員による養豚議員懇話会は、2008年2月に、故中川昭一議員が声をかけて結成された組織です。自民党が与党復帰し本年1月17日に当時のメンバーの一人であり、中川先生と親しい間柄であった大島理森衆議院議員（青森県）が再活動の労を取っていただき会長に就任され、懇話会が復活し幹事長に宮腰光寛衆議院議員（富山県）、事務局長に葉梨康弘衆議院議員（茨城県）が選ばされました。

3月14日自民党本部において開催された会議には、27名まで増えた懇話会メンバーのうち23名の議員が参加され、日頃千葉県養豚に対し支援頂いている森英介、林幹雄両衆議院議員も出席されました。

大島会長から前夜、自民党外交・経済連携本部（衛藤征士郎会長）において、豚肉を牛肉とともに「重要品目」とすること、重要品目が関税撤廃品目として「除外」されなければ、交渉からの脱退も辞さないとする強い与党の意思決定がなされたことを踏まえ、懇話会の大島会長から、「衛藤さん達が昨晩大変な議論のなかで、豚肉を重要品目として関税撤廃から除外するなど、TPP交渉に向かう自民党の方向性を取りまとめた旨、挨拶がありました。

また、JPPA志澤会長から、豚肉が重要品目としてTPP交渉対象から除外する方針が決定されたことへの感謝の気持ちを示したうえで、『米国、カナダ、メキシコからチルド豚肉が入ってくるなかで、国産豚肉はかなりの努力をして自給率52%で維持しているが、TPPで関税が撤廃されると、農水省試算の70%減少どころか、壊滅状態になる。我々は、飼料米の受け皿となって水田を守り、食品残さを積極的に受け入れて食料リサイクルに貢献するという養豚の社会的意義を後継者とともに理解し、『養豚は国民の幸福に寄与する総合産業である』というビジョンを掲げ、この産業が消え去らないよう頑張っている。是非とも全国肉豚に対し牛肉並（基金積立割合・国3：生産者1）に位置づけしていただけるようお願いしたい』とあらためて支援を求めました。

なお、かねてよりの懸案である養豚振興法の制定について、法案提出に向けてJPPAの要望を整理したうえで、事務方で具体的な議論を進めるという方向性が示されました。

## (2) 青年部会開催し『ベンチマーキングへの取組み』を探る



養豚を取り巻く情勢は、飼料原料の高止まり、豚枝肉価格の低迷など安定した経営を求める生産者にとって大変厳しい状況に置かれています。より生産コストの削減が求められている中、自らの経営の立ち位置を知る事により、長所を伸し問題点を改善していく事が益々重要です。昨年11月の青年部研修会を踏まえ、4月23日、香取市において生産者の現状取り組みを探るべく開催されました。今回の呼びかけに対し北総地域を中心とした若手13名が参加しました。

意見交換に際し、県農林水産部扱い手支援課、印旛・海匝農業事務所の担当者に加え、今回協議会が進めるシステムと関わりの深いJASV契約獣医師である（株）ピグレッツ渡辺氏の参加を依頼し、前向きな取り組みについて意見を交わしました。

会議の締めの挨拶として、平野会長から『まず皆さんに経営力を持つてほしい。いかに低利資金を調達するかも経営上重要な課題です。平成24年度全国肉豚は全期間発動と異常な低豚価と厳しい状況にあります。より高い経営を目指しベンチマーキングに取り組んでほしい。』と、支援も考えると期待のエールが送られました。

今後、この取り組みを県下若手生産者へ広く周知し、すでに取り組んでいる生産者、すぐ参加できる生産者、記帳を含めこれから参加を考える生産者等参加者を募ります。関心のある方は地域農業事務所又はNPC事務局まで照会下さい。（事務局 加藤）

- ナイスポークチバ推進協議会『平成25年度通常総会』開催  
日時:平成25年6月6日(木)午後2時～  
会場:オオクラ千葉ホテル3階「エリーゼ」  
(千葉市中央区中央港1-13-1)  
記念講演:「経済記事にはもうだまされない！」  
講師:経済評論家・中小企業診断士  
三橋 貴明 先生



- 一般社団法人日本養豚協会(JPPA)『平成25年度通常総会』開催  
日時:平成25年6月19日(水)午後1時30～  
会場:ホテルグランパレス2階「ダイヤモンドホール」  
(東京都千代田区飯田橋1-1-1)  
記念講演:「激変する経営環境、  
これが勝ち残り戦略だ！」  
(株)クリスト代表取締役会長 栗木 鋭三 氏





ちば畜産レディースネットワーク会報 通算第10号  
**モ~モ~フ~フ~コケコッコ**  
 千葉県内の畜産に携わる女性のみなさんの会報です。

## 活動記録

千葉県農山漁村女性団体ネットワーク交流会（平成25年2月27日・千葉商工会議所）に役員6名が参加、農水産業に携わる女性ネットワークの活性化を図るため、「女性が地域活動で輝くために」をテーマに活発なテーブルトークが行われました。

## 活動予定

### 1 平成25年度総会&紫陽花の宴&研修会・情報交換会の開催

レディースネットワークの一大行事である「総会&紫陽花の宴&研修会・情報交換会」が平成25年6月17日、ホテルプラザ菜の花（千葉市）で開催されます。

多くの会員のご出席お願いいたします。

### 2 県外視察研修会の開催

平成25年7月9日（火）アクアラインバス停留所集合、アクアラインを通って

バスで横須賀に行き、6次産業化に取り組む事例を視察研修します。（昼食は葉山牛で舌鼓・・・）（事務局 棚葉）



昨年の総会の様子

## 会員だより

### 『キラキラ女子力』

館山市 尾形 玲子（養蜂）

「なんてキレイなんでしょう」と新緑の山々に映える薄紫色の山藤を愛でつつ、下手な鼻歌を歌いながら房総の山の中を、あっちの蜂場こっちの蜂場と軽トラを走らせている五月・・・

私の仕事はハチ屋さん、畜産業のお仲間に入れて頂いている養蜂業です。

蜂を飼い、蜂が生産してくれる蜂蜜・ローヤルゼリー・プロポリス等を採集し、近年は果物や野菜などの花粉交配をし、美味しく形の良い実を結実させるポリネーションと云う蜂を貸し出す仕事も農業を支える大切な仕事となっています。

青森県出身の父が創業した「ひふみ養蜂園」の二代目です。寒さに弱い昆虫である蜂を温暖な千葉県で越冬させ、春の訪れと共に桜前線のように、花を求めて蜂と共に一家で北上して行くジブシーの様な生活を私が小学校に上がるまでしていました。今でも憶えているのは初夏に青森の十和田の山にテントを張り、トチの蜜やローヤルゼリーを探り、川で洗濯をしたりマキでご飯を炊いたり山菜を摘んだり、大自然の中で蜂と共に過ごしていました。

そんな風に育ってきた私ですが蜂には全く興味はなく、今自分が蜂屋さんになっているのは想像もしない事でした。お花畑に巣箱を置き、蜜を探る。そんな美しいイメージとは違い養蜂業は3K・4Kの重労働で、父の手伝いの人達も長続きはせずシブシブ私が手伝い始めました。蜂が苦手の私も蜂と向き合っているうちに、その能力の高さや働きぶりに何か感じ入るようになりました。人間には到底できない栄養たっぷりの蜂蜜やローヤルゼリーを生み出す事はもちろん、子育てをして巣箱をとてもキレイに掃除し花蜜や花粉を求め飛び、限りある命の中で陰日向なく懸命に働く姿に尊敬すら覚えます。その働き蜂達はメスなのです。まさに女王蜂を中心とした女性社会なのです。『ウーン、女子力ここにあり!!』と女子のはしきれの私は嬉しくなります。キライだったはずの蜂に今では、前に前に前だけに飛び進んで行き、健気に働くその姿に学ばせてもらい、勢い良く輝く生命力に負けないようまだまだガンバローと思われます。

人工的な物を作るのとは違い、自然や生き物に対するのはとても難しく毎年色々な事が起きます。「何年やっても勉強だ」と云っていた父のように私も毎年毎年の積み重ねです。

「原始、女性は太陽であった」と平塚らいてう女史の言葉のように、何かしら少しでも明るく照らせる輝く存在の女性になれたら・・・ご縁あり畜産レディースのお仲間に入れて頂きました。レッツキラキラ!!

同じ「いきものがかり」の皆様一緒に輝いていきましょう。



## 馬主を募集しています。

## 走れ。私の馬。～地方競馬全国協会からのご案内～

「地方競馬の馬主になりたい!」という方は地方競馬全国協会までご連絡ください。  
地方競馬の馬主登録制度についてご案内いたします。

## ◎馬主登録の申請に向けて

いいえ

年間の所得金額が  
500万円以上ある。

- ・金融資産（預金、株）がある。
- ・年金を受給している。

はい

馬主の登録の申請が可能です。  
詳しくは下記まで。



インターネット 地方競馬 馬主

検索

または <http://www.keiba.go.jp/owner.html>

【お問い合わせ先】地方競馬全国協会 登録課  
TEL : 03-3583-2142

地方競馬の収益金は畜産の振興に役立っています。

「食の安全・安心」のための第1歩は、  
「法令遵守」であることを改めて認識してください。

部 署	TEL	FAX	メールアドレス
総務・企画部	総務課 043-242-5417 (代)	043-238-1255	info@chiba.lin.gr.jp
	企画課 043-242-6333		ogura@true.ocn.ne.jp
事 業 部	経営・環境課 043-241-1738	043-238-1255	okuzumi@swan.ocn.ne.jp
	衛生指導課 043-241-1738		chieishi@aioros.ocn.ne.jp
	生産課 043-241-3851		kanasugi@np-chiba.jp